

市民負担の状況

年度	市税1人当たりの負担額(円)	市税1世帯当たりの負担額(円)	市税額の取扱いについて	人口(人)	世帯数(世帯)	総人口・世帯数の基準日
H24	137,753	364,594	決算額	148,926	56,268	平成24年度末
H25	139,640	365,689	決算額	148,661	56,767	平成25年度末
H26	140,046	362,271	決算額	148,332	57,342	平成26年度末
H27	143,514	367,324	決算額	148,446	57,998	平成27年度末
H28	145,863	369,308	決算額	148,272	58,562	平成28年度末
H29	147,491	369,344	決算額	148,017	59,108	平成29年度末
H30	150,027	370,123	決算額	147,892	59,947	平成30年度末
R1	152,895	372,447	決算額	147,413	60,515	令和元年度末
R2	154,252	370,890	決算額	146,806	61,056	令和2年度末
R3	151,890	361,641	決算額	145,630	61,165	令和3年度末
R4	156,965	367,201	決算額	145,311	62,115	令和4年度末
R5	161,240	371,311	決算額	144,451	62,727	令和5年度末
R6	157,905	357,574	決算額	143,929	63,559	令和6年度末
R7	163,444	364,500	令和8年3月31日現在の収入済額	143,027	64,134	令和7年度末

◆市税を市民1人当たり、及び1世帯当たりの平均負担額であらわしたものです。

財政動向及び市長の財政方針

令和7年度の一般会計の歳入については、国庫支出金の減少などにより、前年度と比べ減少する見込みです。また、歳出については、新特別支援学校整備事業の終了に伴う反動減などにより前年度と比べ減少する見込みです。

基金の現在高については、新総合体育館整備基金などの積立により増加しています。また、市債の現在高については、令和7年度中の借入れが、令和7年度中の償還金と比べ多かったため、前年度と比べ増加しています。

今後も、安定した行政サービスを継続的に提供するとともに、次世代に過大な負担を残さない健全な財政運営を行っていくため、自主財源の確保に努め、事業のスクラップ・アンド・ビルドの徹底などを行っていきます。